Model 825

取扱説明書

株式会社太陽インターナショナル
〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-12-9
日本橋グレイス 1F
Tel : 03-6225-2777 Fax : 03-6225-2778
<URL> http://www.taiyo-international.com

目次

はじめに. 2
ご使用になる前に（安全にお使いいただくために） 3
パッケージの中身. 4
メンテナンス、お手入れ、保護システムについて. 5
ご使用方法. 6
フロントパネルの機能と表示. 7
リアパネル. 8
設置と接続. 9
故障かな？と思ったら. 12
アフターサービスについて. 12
仕様. 13
問い合わせ先. 14

はじめに

Jeff Rowland Design Groupのオーナーとなられましたことを、心よりお喜び申し上げます。お買い上げいただきましたオーディオパワーアンプは、様々な機能コントロールと、インターコネクトの可能性を兼ね備え、最新の技術を結集したステレオパワーアンプです。綿密に設計された回路構成、精密切削加工のシャシー、最新の堅実な製造技術は聴き手に大きな満足と喜びを提供し続けることでしょう。

MODEL 825の設計理念を理解していただきその最高の性能をフルに引き出すためにも、また長年にわたり最良のコンディションでご使用いただけますよう、是非このオーナーズマニュアルをお読みくださるようお願い申し上げます。

お買い上げのパワーアンプのシリアルナンバーは、本体のリアパネルに記載してあります。本機に関するお問い合わせの際には、必ずこのシリアルナンバーをお知らせください。

音やアーティストの表現を再現する際の高邁な理想を実現できるようなアンプをデザインすることは、私にとって純粋な喜びです。この喜びがオーナーの方々の音楽体験をより豊かにできれば幸いです。

ジェフ・ロゥランド
Jeff Rowland Design Group　プレジデント

ご使用になる前に（安全にお使いいただくために）

本機をご使用になる際には、安全上のご注意をよくお確かめください。
以下の注意事項は安全にお使いいただくために大切な内容です。必ず守るようにしてください。

警告：誤って取り扱うと、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。
注意：誤って取り扱うと、傷害又は物的損害などの発生に結びつく可能性があります。

［設置上のご注意］

警告

・定格電圧ＡＣ 100V にてご使用ください。
・付属の AC 電源ケーブルは、本機専用ケーブルですので他の機器に使用しないでください。
・ケーブル等の接続はこの取扱説明書に従って確実に行ってください。不完全な場合には接触不良を招き、火災の原因になります。
・ＡＣ電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いてください。コードを無理に引っ張ったりして抜くと断線又は接触不良を招き、感電や火災の原因になります。
・ＡＣ電源ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、継ぎ足す等の加工は行わないで下さい。火災や感電の原因になります。
・本機の改造や部品の変更は絶対しないようにしてください。火災や感電、故障、ケガの原因になります。
・水など塗れた手で電源ケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
・本機内部に水をこぼしたり、ピン等の金属類を入れないでください。感電や火災の原因となります。
・万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態が起きた場合は、すぐにＡＣ電源ケーブルを抜き、異常状態がおさまったことを確認してからお買い求めの販売店、又は当社サービス課まで修理を依頼して下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

注意

・本機を設置する際にはこの取扱説明書に従って確実に行うようにしてください。
・本機の取り出し、及び設置する際には細心の注意をし、慎重に行うようにしてください。落下等でケガや物損を招く原因になります。
・湿度の多い場所で使用しないでください。結露等により故障の原因となります。
・ゴミやホコリの多い場所では使用しないでください。
・室内温度が５℃～４０℃の範囲でご使用ください。
・振動が多く、水平でない場所には設置しないでください。機器の落下等でケガや物損を招く原因になります。
・オーディオラック等に納めてご使用になる場合、通風をしっかり取るなど熱のこもりには充分注意してください。故障の原因になる場合があります。
・スピーカーケーブルの接続は、AC 電源ケーブルを本体から抜いていることを確認してから行って下さい。AC 電源ケーブルを接続したままスピーカーケーブルの「＋」，「−」，シャーシグランド間をショートさせると故障の原因となります。

［お手入れについて］

本体の汚れは、柔らかい乾いた布（シリコンクロス等）で軽く拭き取ってください。ベンジンやシンナーなど揮発性の薬品のご使用は、絶対におやめください。本体の表面が変質する恐れがあります。

リアパネルの端子等のお手入れの際には、必ずＡＣ電源ケーブルを抜き電源をお切りください。感電の原因となることがあります。

パッケージの中身

MODEL 825のパッケージには下記のものが含まれています。

・MODEL 825ステレオ　パワーアンプ（本体）
・AC電源ケーブル
・DC電源ケーブル
・コントロールケーブル
・球体インシュレーター
・3P/2Pアダプター
・保証登録書
・取扱説明書

注意：本機に付属する電源ケーブルは、専用ケーブルですので他の機器には使用しないでください。

開梱後のカートンケース、及び内部パッキン等は、後日の修理及びお引越等で輸送される場合に備えてお手元に保管されるようお勧めします。

※本製品は米国Jeff Rowland Design Group、及び当社において外観、機能ともに入念な検査を重ねて出荷しておりますが、輸送中などの万一のトラブルを考え、ご使用になる前にどこかに損傷がないかを必ずご確認ください。また到着したアンプが正しく作動しないときは、24時間以内にお買い求めの販売店までご連絡ください。

メンテナンス、お手入れ、保護システムについて

Jeff Rowland Design Groupの製品は、長年に渡りその音楽的性能をお楽しみいただけるように設計いたしました。内部に埃が入らないようにシャシーは密封構造となっており、シャシー内部をクリーニングする必要はありません。内部の回路は調整やメンテナンスの必要がないように、自動調整できるようになっています。修理等の際には、お買い求めの販売店か当社サービス課までお知らせください。

MODEL 825は数々のハード・アルミニウムの部品で構成されています。フロントパネルはダイヤモンド・カッティングツールで削り出されています。このユニークな工程は、美しく魅力的な製品をお届けするために、長年の研究、試行によって完成されたものです。表面は通常のオーディオやビデオの表面とは異なっていますので、お手入れの際は以下の点にご注意ください。

・ 最初の6ヶ月間はフロントパネルのクリーニングは行わないでください。この間に表面のコーティングが定着し、表面の傷を防ぎます。

・ トップパネル、サイドパネルは、水で湿らせた柔らかい綿布で拭きます。シャシーに跡が残った場合、研磨剤や化学物質によるクリーナーは使わないで下さい。クリーナーが必要な場合は、アンモニアを含まないプラスチック・クリーナーまたはガラス・クリーナーをご使用ください。

・フロントパネルのお手入れには、水またはオイルベースの家具用クリーナーを使用します。必ず柔らかい綿の布につけてから拭いてください。フロントパネルは非常に繊細な仕上がりですので、他のもので拭いた場合、目立つ傷がつく可能性があります。

本機のクリーニングに関する質問は、お買い求めの販売店か当社サービス課までお問い合わせください。推奨しないクリーナー等を使うとシャシーを損傷する恐れがあります。

＜保護＞

本機はAC電源の過度の電流を防ぐため各種保護回路が装備されていますが、どのような保護回路やシステムも完全に電気的な害悪を排除することはできませんので予防策が必要です。

雷の発生が予想される場合や雷が発生している場合には誘導雷等に対して内部の回路のダメージを回避するため、アンプのAC電源ケーブルは抜いておいてください。他のオーディオ、ビデオ等の機器も同様にAC電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。

また長期間使用しないときにもAC電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。

ご使用方法

　アンプの設置場所は、できるだけリアパネルの操作が可能な場所に置いてください。
　本機は、ファンや強制的なエア・クーリングを必要としないアンプです。発熱は通常の使用で約 46 度ほどです。アンプの暖まった空気は、ヒートシンクによって上方、側方に流れるようになっています。複数個ご使用の場合、シャシーを垂直に積み重ねることが可能です。ラック等に収納する際には上方に隙間を空けて設置してください。
　アンプは頑丈な台か床の上に設置します。デルリン脚部によって接地面と音響的に隔離するとように設計されております。
　本機はアンプの最も効率的なオペレーション、あらゆる環境下での最高のパフォーマンスが可能なように、広範囲にわたる保護回路を有しています。しかしアンプを正常動作させるため、以下の基本事項に着目しておいてください。

・定格電圧 AC100V にてご使用ください。
・湿度の多い場所では使用しないでください。
・ケーブル等の接続はこの取扱説明書に従って確実に行ってください。不完全な場合には接触不良を招き、火災の原因になりかねません。
・AC 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いてください。コードを無理に引っ張ったりして抜くと断線又は接触不良を招き、感電や火災の原因になります。
・AC 電源ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねっじったり、継ぎ足す等の加工は行わないでください。火災や感電の原因になります。
・本機の改造や部品の変更は絶対しないようにしてください。火災や感電、故障、ケガの原因になります。（改造されたものは、保証期間内でも保証の対象外となりますのでご注意ください）
・水などで濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
・本機内部に水をこぼしたり、ピン等の金属類を入れないでください。感電や火災の原因となります。
・万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態が起きた場合は、すぐに AC 電源ケーブルを抜き、異常状態がおさまったことをご確認の上、お買い求めの販売店、又は当社サービス課まで修理を依頼してください。そのままの状態でご使用になると、火災・感電の原因になります。
・本機を使用の際は、正しくグラウンドされた AC 電源を使用してください。3 ワイヤのグラウンドされた AC ケーブルターミナルが正しくセットされていなかったり、誤って 2 ワイヤのグラウンドされていない AC コードが使用されている場合、故障の原因になりかねません。

・雷の発生が予想される場合や雷が発生している場合には誘導雷等に対して内部の回路のダメージを回避するためアンプの AC 電源ケーブルは抜いておいてくださいい。他のオーディオ、ビデオ等の機器も同様に AC 電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。
また長期間使用しないときにも AC 電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。

・スピーカーケーブルの接続は、AC 電源ケーブルを本体から抜いていることを確認してから行って下さい。AC 電源ケーブルを接続したままスピーカーケーブルの「＋」，「−」，シャーシグランド間をショートさせると故障の原因となります。

フロントパネルの機能と表示

1. 電源スイッチ：アンプの ON と OFF を切替えます。

2. フロント LED・インジケーター：アンプが ON の時はリングが点灯します。

リアパネルの端子の接続、再接続の際は、誤ったノイズやダメージを内部回路に入れないよう、アンプはオフにしてください。

注意：ON と OFF の切替はこのボタンでのみ行ないます。AC 電源を抜く場合は、必ずフロントパワーボタンでオフにしてから行なってください。またスイッチのついたコンセントやクリーン電源装置などは故障の原因ともなりますので、ご使用にならないようお願いいたします。

リアパネル

①	UNBALANCED INPUT	RCA 入力端子
②	INPUT SELECT	RCA/XLR 入力切替スイッチ
③	BALANCED INPUT	XLR 入力端子
④	LINK R to L	入力リンク（バイアンプ用）
⑤	GAIN	ゲイン切替スイッチ 26/32dB
⑥	PHAZE	XLR 位相切替スイッチ（＃ 2. ＃ 3, HOT）
⑦	SPEAKER OUTPUT	スピーカー出力端子
⑧	AUK PS INPUT	コントロール用 DC ケーブル⑰入力
⑨	DC POWER INPUT	DC パワーケーブル⑮入力
⑩	DC POWER OUTPUT	DC パワーケーブル⑮出力
⑪	AUX PS OUTPUT	コントロール用ケーブル⑰出力
⑫	AC MAINS INPUT	AC100W 電源入力端子
⑬	REMOTE ONOFF	
⑭	アンプ部（上部）・パワーサプライ（下部）	
⑮	DC パワーケーブル	アンプ部入力側端子
⑯	DC パワーケーブル	パワーサプライ出力側端子
⑰	コントロール ケーブル	
⑱	アンプ・パワーサプライ用デルリンボール 4 個	

設置と接続

［設置］

本機を設置する際にはパワーサプライの上に⑱デルリンボールを4カ所置き、パワーアンプ部を設置してください。本機を設置する際には放熱の妨げにならないような場所に設置してください。特にオーディオラックなどに納める場合には通気の良いものを使用するなど、熱のこもりには注意してください。

［リアパネルスイッチの機能］

① UNBALANCE INPUT:　プリアンプ、DAC等からのシングルエンドRCA入力端子

② INPUT SELECT:　入力端子の選択。RCAシングルエンド、XLRバランス入力を選択します。バランス出力端子が装備されているプリアンプの場合、バランス入力をご使用になるよう推奨します。

③ BALANED INPUT:　プリアンプ、DAC等からのバランス入力端子です。(推奨)

④ LINK R TO L:　バイアンプ駆動（2台のアンプで1ペアのスピーカーをドライブする方式）等、入力信号を統合しモノラルにするためのスイッチです。
Model 825は2セットご使用いただくことでバイアンプ駆動が可能になります。
このスイッチをON（上側）にするとRchとLchの入力信号がミックスされモノラルとなります。入力端子は左右どちらか一方をご使用ください。(原理的にはどちらも同じ信号が入りますので音質の変化はございません。)
スピーカー出力端子⑦は両側の端子をそれぞれ接続してください。

<u>※通常のステレオアンプとしてご使用の場合は必ずOFF（下側）にしてください。</u>

⑤ GAIN:　増幅ゲイン切り替えスイッチで、スピーカーの能率、フロントエンド機の出力ゲインに合わせて切り替えます。通常の場合、(スピーカー能率が86dB以上、DAC等の出力が4～6Ｖ程度）の場合には26dBが標準設定です。能率が極端に悪いスピーカーの場合には32dBにすると、プリアンプのボリュームを大きく上げる必要がなくなります。お聞きになるレベルによって、ゲインを選択します。

⑥ PHASE:　入力信号の位相切り替えスイッチ。通常プリアンプは位相を反転しません。(#2HOTで信号が入った場合には、プリアンプバランス出力は同じように#2ホットで出力されます。)
フロントエンド機が3番ホットでバランス出力の場合には#3HOT，２番ホットでバランス出力する場合には#2HOTに設定します。現在の国際標準は#2ピンがホットです。

⑦　SPEAKER OUTPUT:　スピーカーへこの端子を介して結線します。チャンネル当たり2系統の出力があります。どちらも同じ信号を出力します。各端子の上部が＋、下部が－です。バイワイヤー対応のスピーカーをご使用の場合には、2つの端子からスピーカーケーブルでスピーカー端子に（バイワイヤー対応の場合にはHIGH, LOWなどと入力が分かれています）接続します。

⑧　AUX PS INPUT:　DCケーブル⑰によってパワーサプライからの出力端子⑪とアンプ部分入力端子⑧とを接続します。

⑨　DC POWER INPUT:　DCパワーケーブル⑮によってパワーサプライからの出力端子⑪とアンプ部分入力端子⑧とを接続します。パワーサプライからの出力端子⑩とアンプ部分入力端子⑨とを接続します。

⑩　DC POWER OUTPUT:　パワーサプライからの出力端子で、DC パワーケーブルによってアンプ部DC入力端子⑨と接続します。

⑪　AUX PS OUTPUT:　パワーサプライからのコントロール用ケーブル⑰の出力端子。コントロール用ケーブル⑰によってパワーサプライからの出力端子⑪とアンプ部分入力端子⑧とを接続します。

⑫　AC MAINS INPUT:　AC100V電源の入力端子。付属のケーブルをご使用ください。

⑬　REMOTE ONOFF:　アンプのパワーをオン・オフするためのリモートコントロールが必要の場合に使用します。オン・オフ用　リモート装置が必要で、通常は使用しません。リモート装置はアメリカでは販売店が用意するようですが、日本では用意されておりません。ご了承ください。

⑭　アンプ電源部シャーシ。

⑮　DCパワーケーブル　アンプ部入力端子⑨に接続。

⑯　DCパワーケーブル：パワーサプライ出力端子⑩に接続。

⑰　コントロール用ケーブル：　コントロール用入力端子⑧、コントロール用出力端子⑪に接続します。

⑱　アンプ・パワーサプライ用デルリンボール：アンプ部分上部（大きいシャーシ）をパワーサプライ（小さいシャーシ）の上に載せますが、パワーサプライシャーシ天板の指定された位置（半球形の欠き取りが4つあります）にデルリンボールを載せ、その上にアンプ部シャーシを載せて設置します。設置場所を決めた後にパワーサプライをまず床に置き、デルリンボール4個を指定欠き取り部分に置き、それに合わせるようにアンプシャーシを載せます。アンプシャーシの底板にも半球形の欠き取りがあり、フロントパネルとサイドパネルがぴったりとそろうように設置できます。

最初はプリアンプのボリュームを０からゆっくりと上げていきます。
適度なボリュームで音楽をお楽しみください。

本機の取り出し、及び設置する際には２名以上で行うようにしてください。落下等でケガや物損を招く原因になります。

故障かな？と思ったら

故障とお考えになる前に、下記の点を確認してみてください。

電源が入らない
・ＡＣ電源ケーブルは、正しく接続されていますか。
・コンセントに AC100V が通じていますか。

音が出ない
・オーディオケーブル（ラインケーブル、スピーカーケーブル）は、正しく接続されていますか。
・フロントスイッチを ON にしていますか。
・リアパネルのミュートスイッチが ON になっていませんか。

アンプは正常に作動しているが、フロントパネルランプが点灯しない。
・リアパネルにあるフロントパネルランプが ON/OFF スイッチ OFF になっていませんか

ノイズが出る
・接続したラインケーブルとリアパネルにある RCA/XLR 入力切替スイッチの選択が誤っていませんか。

以上、上記の項目をご確認の上なお製品に異常が見られる場合は、お買い求めの販売店又は当社サービス課までご相談ください。

アフターサービスについて

・同封の保証登録書に必要事項をご記入の上、ご購入後１０日以内にご返送ください。折り返し当社発行の保証書をお送りいたします。規定通りの手続きをなさらないと、保証期間内でも有償修理となる恐れがありますので、ご注意ください。なお、「保証書」は製品無償修理の際、必ず必要となりますので、お客様ご自身で記載内容をご確認の上、大切に保存してください。

・保証期間はお買い上げより１年です。保証期間内に正常なご使用状態で起きた故障等は保証書記載事項に基づき、無償修理いたします。

・故障と思われる場合にはこの取扱説明書をよくお読みになり、再度接続と各部の動作、点検をしていただきなお異常のある場合には、お買い求めの販売店、又は当社サービス課までご連絡いただき、修理をご依頼ください。

Model 825　仕様

出力（連続 RMS W）:	８Ω　各 400 w ４Ω　各 750W
周波数帯域：	5Hz-50kHz,
THD+ ノイズ、0.1W-500W/4Ω：	0.004％@ 20Hz-20kHz
入力インピーダンス：	40 k Ω
ゲイン：	26/32dB リアパネル SW による切替
絶対位相：	＃ 20HOT
ダンピングファクター：	20Hz-20kHz において 1000 以上
入力端子：	バランス（XLR）1 系統、アンバランス（RCA)1 系統
出力端子：	２系統（パラレル・バインディングポスト）
消費電力（アイドル時）:	100W
消費電力（スタンドバイ時）:	１W
重量（本体）:	73 kg（AMPLIFIER & POWER SUPPLY WEIGHT）
外寸（本体）:	W394xH419xD413mm（アンプ部、電源部スタック時） W394xH244xD413mm（アンプ部のみ､ｲﾝｼｭﾚｰﾀｰ含まず） W394xH150xD413mm（電源部のみ、ｲﾝｼｭﾚｰﾀｰ含まず）

※本機の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ先

株式会社 太陽インターナショナル

〒 103-0027

東京都中央区日本橋 2-12-9

　日本橋グレイス 1F

TEL : 03-6225-2777（代表）

　　　03-6225-2779（サービス課）

FAX : 03-6225-2778

ホームページ : http://www.taiyo-international.com

2015.1